



2023年06月22日

各位

会社名 株式会社FHTホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 森 欣也  
(コード:3777、東証グロース)  
問合せ先 管理部長 中村 尚美  
(TEL. 03-6261-0081)

## 新たな事業（インフラテック事業）開始と工事受注に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり新たな事業（インフラテック事業）を開始することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

また、EV 充電器設置の請負工事事業の開始、並びに太陽光発電所リニューアル工事の大口受注（数千万円）を致しました。

### 記

#### 1. インフラテック事業

##### (1) 事業開始の趣旨

当社は、「堅牢で豊かな社会インフラの構築」というビジョンを掲げ事業を展開しています。

資源エネルギー事業、環境事業、IT 関連事業を展開し、各事業毎に短期的、中期的な強化策を実施しています。

一方、SDGs 目標の1つに「インフラ、産業化、イノベーション」があります。その内容「強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る」を実現すべく、共通化をキーに事業間シナジー最大化に向けた取り組みを始めています。

Cyber（情報＝ソフトウェア）分野では、ソルガム事業においてBioghum Linkによって種子開発や育成、生産管理に活用し、リユース事業においてもPSM1（製品安全管理システム）にて管理の改善を進めています。

一方、Physical（現物＝ハードウェア）分野においても、弊社が保有する一般建設業許可（電気工事業・電気通信工事業）とアイレス株式会社が保有する一般建設業許可（機械器具設置工事）と各事業会社の営業を融合させ、持続可能なインフラリニューアルや環境負荷低減を目指したインフラテック事業（建設業）を、開始致します。2050年カーボンニュートラルに向けた日本政府の目標に対応し、EV・PHVの普及に際し、現在約3万基ある充電設備を2030年までに15万基増設が推進されています。弊社執行役員の知人であり過去に取引のあった企業に事業開拓の打診を行っていたところ、EV充電器設置事業を紹介され、EV関連設備工事を開始致します。また、過去10年間で飛躍的に増加した再生可能エネルギー発電インフラは、経年変化（電気機器経年劣化、ケーブル劣化、構造物劣化等）や保全を起因として、事故率増加が想定されます。今後、需要が高まる修理、メンテナンス、リニューアルなどに向けた事業も開始致します。弊社で保有している一般建設業許可（電気工事業・電気通信工事業）を活かし、営業活動を行っていたところ、過去の太陽光発電所の販売先より設備修繕の相談を受け、工事の提案を行い受注に至っております。

本事業により個別事業を跨いだ全体最適事業展開に結び付け、グループ事業間でシナジーある営業展開が図れると考えています。

## (2) 事業の概要

### (ア) 事業の内容

一般建設業認可（2022年10月13日取得）を礎とし、当社の環境事業（ビルメンテナンス、立体駐車場、BCP、EV 関連設備、資源循環、脱炭素等）、資源エネルギー事業（資源・発電所・定置型蓄電池システム、電力監視／制御システム、EPC 等）、IT 関連事業（屋内外通信設備、等）に関わる電気通信工事、電気工事、建設等を担います。

### (イ) 当該事業を担当する部門

当該事業を担当する部門 : インフラテック事業本部、アイレス株式会社

事業内容 : 1. 電気工事  
2. 電気通信工事  
3. 機械器具設置工事  
4. EPC  
5. 各種電気設備に係るメンテナンス

事業開始時期 : 2023年06月

### (ウ) 当該事業開始のために支出する金額及び内容

当該事業は当社既存の従業員2名で開始する予定であるため、当該事業開始のために特別に支出する費用はありません。なお、別途受注に伴い業務委託費が発生する予定です。

## (3) 日程

2023年06月22日 : 取締役会決議  
2023年06月22日 : 事業開始日

## (4) 本受注（予定）工事の内容

EV 充電器設置工事 : EV 普通充電器の工事設計、機器設置並びに配線、動作確認  
太陽光発電所リニューアル : 機器メンテナンス、ケーブル配管、埋設、再配線工事等

## 2. 今後の見通し

当事業に伴う業績への影響につきましては現在精査中であり、業績推移につきましては、適宜、開示を行ってまいります。

なお、当該「インフラテック事業」につきましては、当社グループの「環境事業」セグメントの領域事業として組み込みます。

以 上